



プロダクトデザイン研究室

Product Design Lab.

赤井 愛

AKAI, Ai / Associate Professor

ねどこ ガジェットの寝所

A beautiful place to recharge your gadgets

スマホやパソコンなど日常を便利にする道具やIT機器をガジェットと言います。多くの家庭のガジェット充電スペースは、様々なケーブルやアダプターで溢れかえり、散らかっている場合が多いでしょう。その悩みを解決し、皆さんのガジェットライフをレベルアップさせるために、九州の家具メーカーワაკ株式会社との協力を得てガジェット専用ラック「DOYO RACK」を開発しました。DOYO RACKは充電時に見えるケーブルが最小限なので、全ての段でガジェットを美しく充電することが可能です。さらに、キャスター付きのラックにモニターアームを設置できるため、軽い力でモニターとガジェットをダイニングテーブルやデスクの横に移動させることができます。2つの要素を組み合わせた結果、ガジェットを美しく充電し、家中どこでも大きなモニターで作業を行うことが可能になります。DOYO RACKはゴチャついた充電環境に終止符を打ち、リモートワークがより快適になる作業空間を提供します。



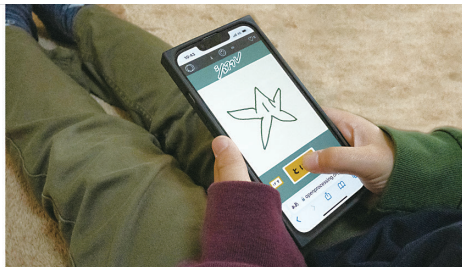
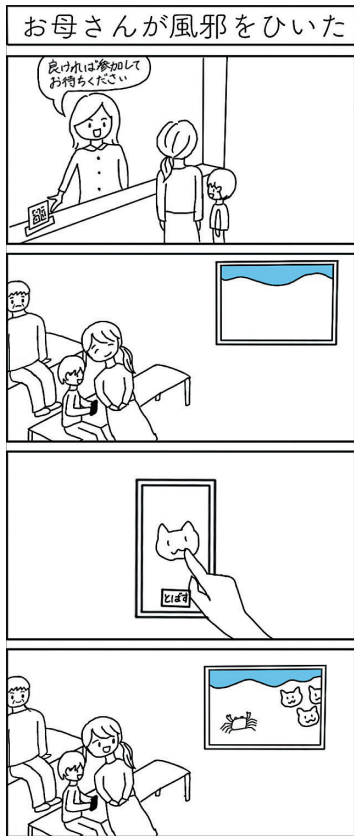
荒本 喜丞

ARAMOTO, Kisukeno



描いて飛ばせ! シェアして作る絵画『シェアフレ』 子どもの興味を活かし、公共空間で大人と楽しく共存する

Draw and throw 'Share-fre': Utilizing children's interests to coexist happily with adults in public spaces



小さな子どもがいる家庭では親である自分の体調が悪くなった時、我が子連れて通院するのは周りに迷惑になるかもしれないと不安に思い、病院にいくのを躊躇うお母さんやお父さんが多く存在します。

そこで「描いて飛ばせ! シェアしてつくる絵画『シェアフレ』」を提案します。

『シェアフレ』は待合室の壁にかけられた絵をみんなと一緒にすることで、子どもは待ち時間を楽しみながら静かに過ごせて、親の不安も解消できる。さらに周りの大人も少し微笑ましい気持ちになれる空間を提供することを目的としています。

それぞれのスマートフォンからイラストを描いてシェアする。シェアされたイラストが壁にかけられた絵の一部としてみんなと共有されます。この提案を通じて大人の多いこの社会に子どもの存在が認められて、親子が周りの大人と共存していくための手助けができればと思います。

プロダクト部門賞

井上 由佳莉

INOUE, Yukari



m stool 「 」のスタッキングとその可能性

m stool: Stacking of marginal space and its possibilities

積み重ねることを意味する「スタッキング」、この言葉に焦点を当て、今一度私たちの身の回りを見てみると、気にしていなかっただけで、そこには多種多様な「スタッキング」が存在していたことに気づかされます。生活の中でよく見かけるスタッキングスツールもその一つです。

m stoolは一般的なスタッキングスツールのように使う時と使わない時が明確に分かれたものではなく、「 」(=余白)を積み重ねる要素を取り入れることで、その境界線をぼかし、そこに新しい価値を創り出す、使い方に余白性を内包させたスタッキングスツールです。

また、m stoolの曲面美は木の積層、製作した型と熱による曲げにより実現しました。

m stoolを通して、「スタッキング」を知る、気づく、きっかけをつくり、「 」の“スタッキング”が創り出す、新しい価値とその可能性を提案します。



碓井 厚希
USUI, Atsuki



「 」をスタックする



Hobitat LEGOコレクションと共に棲む

Hobitat: Making a habitat for your collection

大型で完成度の高いセット“大人レゴ”が多く発売され、子どもの玩具ではなく大学生、社会人が趣味として収集・創作を楽しむことが認められるようになったLEGOブロック。しかし、収集していくほどに困るのが、組み立てたセットやお気に入りの作品を飾る場所だ。そんな問題を解消するための、コレクションたちに“棲み処”を作る提案。

ただ詰め込むだけでは、魅力的には飾れない。物が密集しながらも雑然としないために必要な要素は何か。そう考え、辿り着いたのが「疎と密」を生むことだった。縮尺や作る対象に決まりがないLEGOのコレクションは、大小様々となりやすい。そこで、大きいもの、小さいものが偏ることの無いよう「部屋」を配置しておくことで、個々が存在感を失うことのない居場所をつくった。集合住宅のような佇まいのLEGOコレクションたちの棲み処、Hobitatだ。私たちの生活空間に趣味の居場所をつくることで、日常生活と趣味の共存を図る。



太田 一騎

OTA, Ibuki



sotonomo 屋外で最高の乾杯をするためのオトモ

sotonomo: A product that goes best with drinking outdoors

皆さんは屋外でお酒を飲んだ事がありますか？ この日本では古くから花見酒などのかたちで親しまれてきました。外の空気にあたりながら飲むお酒は開放感があり、家や飲食店とは一味違った良さがあります。

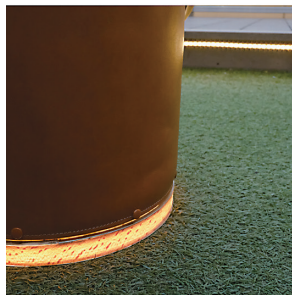
この体験をより特別にし、外で最高の乾杯するためのオトモ、sotonomoを提案します。

sotonomoは友人との“屋外飲み”を想定した鞆であり、ミニテーブルです。まずはsotonomoを持ってお酒やおつまみを買に行きましょう。買った物はsotonomoに入れ、友人との集合場所へ向かいます。そこで革製の天板を展開し、鞆の口にはめればミニテーブルに早変わり。底面にあるクッションを取り出して座ります。足元を照らす明かりをつけたら、あとは楽しく飲むだけです。

素材は革とブナと真鍮。どれも経年変化で味わいの出る素材です。いつまでも変わらない友人との時間を変わっていく素材の表情が刻んでいくことでしょう。

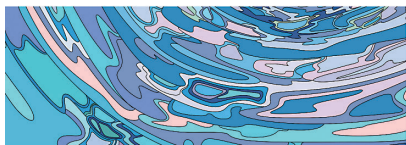


小椋 晴斗
OGURA, Haruto



『天使の仕立て屋』 全身で絵本の世界を大冒険

Angel Tailor: A huge picture book for enjoying the story with your whole body



子どもの創造力は無限大——

絵本の持つ不思議な世界に飛び込んでみたいと思ったことはありませんか？

紙の絵本は「物語の世界を自分自身で冒険できる」魔法のアイテムです。

しかし近年では、手軽に視聴ができる動画が普及し、作り手側のペースで物語を知ることが増えました。そのため、子ども自身が考えて、想像する余地がありません。

今回提案する『天使の仕立て屋』は、子どもたち自身で思いのまま物語を追い、自身の世界を広げることができる等身大サイズの絵本です。

主人公は絵本の前にいる子どもたちと双子の天使さん、色鮮やかな世界で、海に住む妖精さんと魚たちを助けるお話です。

「見て、さわって、探して、動かして」
読み方に制限はありません。

星形に展開された絵本、外から内側へ広がる色鮮やかな世界——

日常とは違う絵本の世界を大冒険して、物語を追う楽しさを感じてみてください。



片山 栞里
KATAYAMA, Shiori

“本のライヴハウス”の魅力をデザインする活動

Creating an attractive “live-house of books” by design

近年、実店舗の書店が減少する一方で、新たなスタイルの書店が広がりを見せています。2022年夏、大阪工業大学 知的財産学部 水野ゼミにより大阪・西天満に『水野ゼミの本屋』が開店され、そこを拠点に、シェア型書店の運営・著作権消滅作品の復刊・読書会の開催など、本との出会い方を広げる・本を通じた人の出会いの場をつくる活動が行われています。

ロゴ制作をはじめとした書店のブランディング、復刊本の装丁デザイン、本に触れるきっかけづくりを目的とした「大阪市北区の本とあれこれマップ」の制作などを通し、ふらりと立ち寄れば、新しい本や人との出会いがある魅力的な場所＝“本のライヴハウス”の活動の協働者として、デザイン提案を行いました。

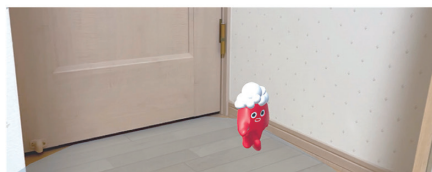


加藤 百々花
KATO, Momoka



ほっこりん 日々のお掃除が楽しくなる世界

Hoccorin: Suggestions for making daily cleaning fun with a fairy



こまめに掃除をしないとイケないと思っていても、なかなか行動に移すことは難しいですね。面倒くさい、楽しくない、今日は疲れたし…。このような気持ちを変えることで私たちの暮らしはより豊かになると思いませんか？そこで、「ほっこりんとのお掃除生活」を提案します。

ほっこりんはミトンやスリッパに変身してほこりを吸収したり、ほこりが溜まりやすい場所を私たちに教えてくれたりする妖精です。ほっこりんとのお掃除生活を送るには、変身したほっこりんとスマートフォンのARアプリを使用します。私たちは変身したほっこりんを身につけ、ARアプリ上で動くほっこりんが導いてくれた箇所を実際に掃除します。ほっこりんの何とも言えない表情やクセのある動きに惹かれて、思わずお部屋の隅を覗いてみたくなるはずです。あくまで日々の掃除を行うのは私たち自身であり、ほっこりんは掃除に楽しみを見出す手伝いをしてくれるパートナー的存在なのです。

鈴木 安里
SUZUKI, Anri



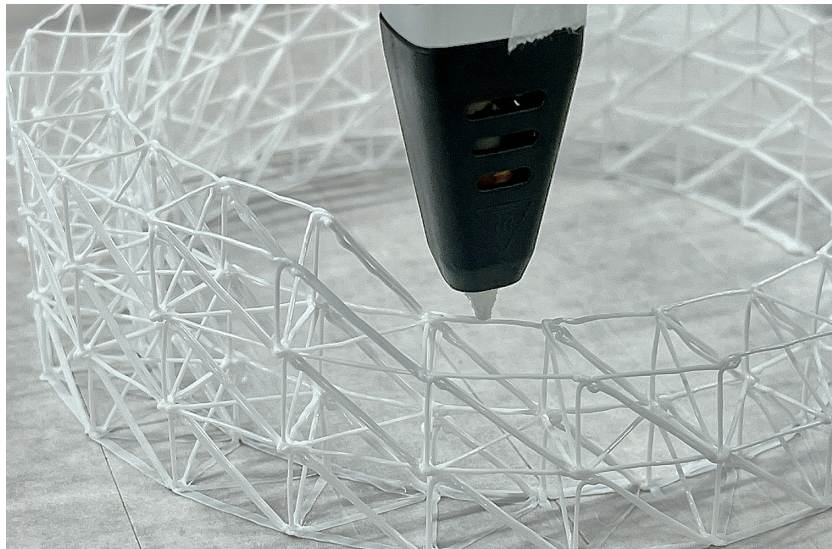
ロボットアームによる3Dプリンティングでつくる幾何学構造体

Geometric structures created by 3D printing with a robotic arm

「3Dプリンタ」、それは立体のデータを水平にスライスし、その断面図を積層させることで造形する、ものづくりにおいて大変便利な機械です。そんな3Dプリンタが、まるで飛行機が飛行機雲を描くかのように空間に直接造形できれば、さらなる造形の可能性を追求できるのではないかと考えました。

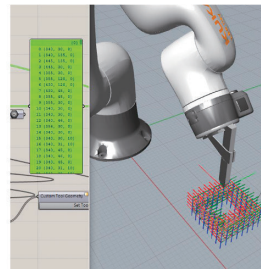
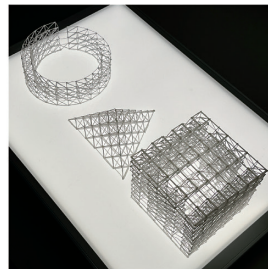
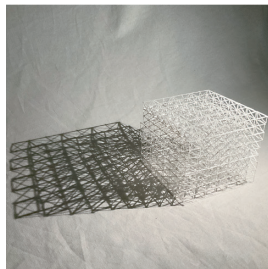
今回の研究では、主に知育玩具として販売されている「3Dアートペン」を産業用ロボットアームに持たせ、座標間の移動をプログラムすることで、立体造形の実現を図りました。造形には「トラス構造」が鍵を握り、それを利用した直線で構成された、様々な幾何学構造体を作ることに成功しました。

ロボットアームによる3Dプリンティングという造形手段を通して、幾何学構造体の従来の成形方法では制作困難な形状および独特の繊細さといった、さらなる造形の可能性を提案します。



中島 光陽

NAKAJIMA, Mitsuharu



イロイロ トリドリ 色の見え方の違いを知り、楽しむ絵本

iroiro-toridori: Picture books for learning and enjoying different ways of seeing colors



「青色は1色。いいえ、100人いれば100色あります。」

信号・路線図・トイレの標識など私たちの身の回りには色で識別するものが多く存在します。しかし、色覚異常すなわち色覚に特性を持つ子どもたちにとって色による識別は理解に苦しみ面や楽しみにくい面があります。また、色覚特性についての知識を得る機会を増やし、多くの人が色の見え方は1つではないことを認識することも大切です。

そこで、色の絵本「イロイロトリドリ」を提案します。様々な見え方があることを「知る」、色を使って「楽しむ」「表現する」を兼ね合わせた全6冊の仕掛け絵本です。各冊に登場する動物たちの生態と様々な色覚特性の特徴を結びつけて分かりやすく表現しました。

色覚異常を障害と捉えず1つの個性として、共に色を楽しむことができます。また、多様な色覚特性を持つ子どもの保護者の気持ちが少しでも軽くなるような変化に繋がれたらと願っています。

審査会賞
(プロダクト・情報部門 第3位)

吉川 綾華
YOSHIKAWA, Ayaka

